

2018年2月26日

厚生労働省大臣

加藤 勝信 様

日本年金機構

理事長 水島藤一郎 様

全日本年金者組合

中央執行委員長 金子 民夫

## 2018年2月定期支払に係わる誤処理に対する抗議と要望

貴職におかれましては、社会保障・社会福祉の充実に向け、日夜努力されていることに敬意を表します。

さて、2018年2月の定期支払において過大な源泉税を徴収するという事件で、国民とりわけ当組合員のなかにもこの被害を受けた者があり、貴職のずさんな職務管理の結果がこうした事件を引き起こしたもので強く抗議します。

ついては、下記の通り抗議するとともに、2点について要請いたします。書面による回答を求めます。

### 記

1. 多くの年金受給者は年金を頼りに生活しています。源泉税の過大な徴収により、減額された年金額は、即、生活資金不足に直結する問題です。私どもが把握している事例では12倍もの源泉税が徴収され困惑・困窮されている方がおります。ことは年金生活者の死活にかかわる問題であり、強く抗議します。
2. 誤処理に係わる金額の訂正・調整は4月支給支払い分において調整するとされていますが、これは受給者の生活実態を無視したものでとうてい容認できません。直ちに正しい源泉税を算出し、4月の支払日を待たずに超過徴収分については差額分を一日でも早く還付することを求めます。
3. すべての該当者に対して、直ちに謝罪と事情説明の文書を送付してください。
4. あわせて、この機会に以下について要請します。真摯に検討し実現してください。
  - (1) 年金実務業務を外注せずに、職員が実務処理する体制を確立すること
  - (2) 業務の検査体制、チェック体制を確立すること、そのための人員の確保をすること。

以 上